研究Ⅲプラタナス講演会「２０３０問題について語る」

藤島高校はＳＳＨの取り組みとして、教科「研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業を行っています。「研究Ⅲ」の授業として、「２０３０年問題を考える」講演会をＺＯＯＭで東京とつないで実施しました。

１　目　的

これまでの研究Ⅲの単元「社会のあり方を考える」で環境問題や食糧・水の問題について学んできている。地球温暖化問題・プラスチック汚染の脅威・大量消費社会の限界についての現状と課題について専門家による講演をお聞きする。現代社会に潜在する課題に気づき、今後、私たちは問題解決のためにどのように行動していけばよいかについて考える機会とする。

２　日　時　令和３年６月１日（火）７限目

３　講　師

堅達京子 氏（ＮＨＫエンタープライズ　エグゼクティブプロデューサー）

※NHK 入局後、環境問題をライフワークに様々なドキュメンタリー番組を制作

ＮＨＫスペシャル「２０３０未来への分岐点」地球温暖化・水・食糧の問題・プラスチック汚染の制作に携わる。

４　概　要

（１）講演の内容

・現在の大量生産・大量消費型の経済から持続可能な経済へと転換するパラダイムシフトが求められている。

・世界のビジネス界はコロナ危機以前から地球が置かれている危機的な状況に気づき、脱炭素社会や脱プラスチック社会へと移行、日本はその中で遅れをとっている。

・このままいくと早ければ 2030 年にも、地球の平均気温は臨界点に達するといわれている。それを超えていくと、温暖化を加速させる現象が連鎖し暴走を始める可能性が科学的に明らかになってきた。この現状を正しく認識し、持続可能な社会への移行にむけて行動を起こしていってほしい。

次ページから生徒の感想になります。

（２）生徒の感想

私は個人的に「2030」の番組を見て、家族と話し合う機会があったのですが、今の現状を見てとてもショックを受けたし、家族とフードロスを減らすようにしがけようと決めるなど、とても影響を受けました。最近プラスチックの袋が有料化しましたが、環境のことを考えていない大部分の日本人は袋にお金を払うことに対してまひしてしまうことさえ今後起こってくるのかな、と思います。だからこそ、堅達先生がおっしゃっていた人に伝える、ということが必要になってくると思います。まず私たちに必要なのは現状を多くの人に周知させることです。そのために、私も大学での活動やその後の職で少しでも貢献できるようにしたいです。今日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

次回６月８日（火）は論点整理（文章を読む・調べる）です。

温暖化による影響は自分が想像していたよりも凄惨なもので驚きました。特に私たちが普段食べている塩や、ミツバチなどにもプラスチックが含まれているのを聞いて、とてもぞっとしました。そんな中で、年が近い外国の人たちがこのような状況を訴えて行動を起こしている姿を見て、何だか自分が恥ずかしくなってきました。私はフードロス問題に最近興味を持ち始めたので、積極的にフードロス削減の運動に参加したいと思います。また、余り物で困っている食品会社があれば、SNSで呼びかけるなどして、持続可能な社会に貢献したいです。本日は貴重な講演をありがとうございました。

次回６月８日（火）は論点整理（文章を読む・調べる）です。

今日の講演を聞いて、今まで遠くのことだと思っていた地球の環境問題が、急に身近なことに感じました。例えば1.5℃問題や、日本のリサイクルが実はおくれていることや、オランダの少年や同じ福井県の若者が、アップサイクルを行っていることを初めて知り、口だけではなく具体的に自分に何ができるかを考えていくことが大切だと思いました。私には、技術を開発したり法律を変えたりすることはできないけれど、今日学んだことを、家族や他校の友人やネットを通してより多くの人に伝え、また、商品を買うときには、リサイクルされたものを選び、消費する側も責任をもつことが、これからできることだと思います。2030年、将来の世代のためにも、環境の変革を進めるのに、もたもたしている時間はないと分かったので、行動を変えるよいきっかけになりました。

今日の講演はすごく貴重な経験でしたし、改めて自分たちの行動を変えていかなければ大変なことになるのだなと感じました。全体の3.5%が変われば、世界が大きく変わるというお話が一番印象に残りました。私は、3.5%という数値を聞いて正直少ないなと思ったけど、世界の人口で考えると多くの人が動いていかなければならないので、自分も何かできることを探したいなと思いました。諦める側になるのではなく、変える側になれるようにがんばりたいです。

本日はご講演ありがとうございました。本当にプラスチック問題が身近にあるということを実感しました。一度便利なものを手に入れてしまうと、それを制限したり、新たなものを作り出すことは本当に難しいと思います。福井でも、煙がすごーく出ている工場を見ると、環境汚染だ…と思うと同時に、でも生活に必要なものがつくられてるんだろうな…とも思います。私は企業の経営や生産に口出しできない分、消費者として、どんな商品を選びとるか、つくる責任、つかう責任が大事だと思いました。"発信"と"行動"を大切にしていきたいです。

次回6月8日(火)は論点整理（文章を読む・調べる）です。

自分たちの世代が、この環境問題を止めることができる、最後の世代だということばが、とても響きました。これまでは、私たちが大人になったときには、大変なことになっているという考え方はよくしていたけれども、自分たちよりも後の世代は、止めるということさえもできないという考え方はあまりしておらず、自分たちにも、とても重い責任があるのだということを改めて感じることができました。これから、他人事だとは思わずに、自分の行動や、人に伝えるということが周りの人に影響を与えるということを信じ、問題に向きあいたいと思います。